

断熱リフォーム工事基準値確認票

1.（別表2）2－2に該当する窓等の断熱改修工事

該当	工事の 種別	窓等 の数	仕様(建具とガラス又は枠と戸の種類) 又は製品名	熱貫流率U (W/m ² ・K)	基準値
☒	外窓 交換	1	【建具】アルミ樹脂複合 【ガラス】3+A16+Low-E3	2.34	3.5 以下
		1	〇〇〇断熱窓（製品名）	2.34	
☒	内窓 設置	1	【建具】樹脂製 【ガラス】複層ガラス	—	複層 ガラス入り
		1	内窓〇〇〇〇（製品名）複層ガラス		
☒	ドア 交換	1	【枠】金属製熱遮断構造 【戸】金属製高断熱フラッシュ構造	1.55	3.5 以下
		1	〇〇断熱ドア（製品名）	1.55	

熱貫流率Uを製品カタログ又は参考資料で確認し、該当箇所にマーカーを引く等示したうえで添付してください。

2.（別表2）2－4に該当する屋根、天井、床等の断熱改修工事

該当	改修 部位	断熱材の種類 又は製品名	厚さ (mm)	熱伝導率 (W/m・K)	熱抵抗値R (m ² ・K/W)	基準値
☐	屋根					4.6 以上
☒	天井	高性能グラスウール 16K	155	0.038	4.07	4.0 以上
☒	外壁	高性能グラスウール 16K	85	0.038	2.23	2.2 以上
☒	床	押出法ポリスチレンフォーム 3種 b A	100	0.028	3.57	3.3 以上
☐	基礎					1.7 以上

熱伝導率を製品カタログ又は参考資料で確認し、該当箇所にマーカーを引く等示したうえで添付してください。

$$\text{熱抵抗値 } R \text{ (m}^2 \cdot \text{K/W)} = \text{材料厚さ (mm)} \div \text{熱伝導率 (W/m} \cdot \text{K)} \div 1000$$

※記入にあたっては、消えるおそれのある筆記具（鉛筆、フリクションペン等）を使用しないこと。